

南生建設 株式会社 様



業種 総合建設業

所在地 鹿児島市

代表者 代表取締役 川畑 智洋 氏

社員数 132名 (男性117名・女性15名)

年間休日の増加

上限規制への対応

勤怠管理システムの導入

デジタル推進室設置

建設ディレクターの設置

健康管理

女性活躍推進

魅力ある職場を目指して

2017年 働き方改革委員会を設置

- ・ 時間外労働の削減、段階的な年間休日数の増加
- ・ 時間外労働の上限規制が適用される1年前の2023年4月までに時間外労働削減を行う目標を立てました。

時間外労働の上限規制に対応し、社員がやりがいを感じながら安心して長く働くために

取り組みの内容・成果

○労働時間の削減

段階的に年間休日を増やしました。
年間休日 2017年度：100日 → 2022年度：112日

○勤怠管理システムの導入

リアルタイムで労働時間を把握し一元管理が可能となりました。

○デジタル推進室の設置

リモート会議設備などデジタルツールの導入拡充を図りました。Web会議が浸透し、移動時間の削減や書類作成の手間が軽減されました。

○建設ディレクターの設置

現場とオフィスの橋渡し役として、建設ディレクターを設置しました。

○時間外労働の削減

2017年度：24.4時間/月 → 2021年度：16.8時間/月

○上限規制への対応

2023年4月から超過勤務を月30時間、年間360時間以内に留める目標を設定しました。

○有給休暇取得促進

業務の効率化、時間単位年休、閑散期に取得の促進により
取得率 2018年度：21.3% → 2021年度：60.7%

中所局長が職場を視察



建設ディレクターとは



現場担当者

ITスキル等を駆使し、現場とオフィスの橋渡し役を担う建設業の新しい職域

- ・ 写真管理、書類作成などの定型業務を本社に集約し、現場の事務負担を大幅に軽減
- ・ 本来の業務である施工管理、人材育成技術の継承に集中する時間の確保
- ・ 現場の時間外労働削減、休日取得促進



建設ディレクター

川畑社長のコメント

建設業界の3K「きつい・汚い・危険」のイメージを払拭し、新3K「給料が高い・休日がとれる・希望が持てる」となるように、全社をあげて働き方改革を推し進めております。

来年度からは、2024年4月より適用開始となる「建設業に対する時間外労働の上限規制適用」に先駆け、時間外労働を1月30時間以内とし、あわせて年間休日日数をさらに増やしていく予定です。

今後も働き方改革を推し進め、社員一人ひとりがイキイキと働ける企業風土の醸成を目指して参ります。